

【暴落にも耐えうるポートフォリオ思想について考える！】

どうもゆうです！

さてさて、前号にて

【大投資家のバフェットに投資してもらおう、
という視点について考える！】

という号を流しました。

個人的には人にはよりますが前号の情報で

本当に100万円以上の価値はあると思ってるんで

良かったら是非見てみて検証もしてみるといいと思います。

最近の世の中はちゃんと情報を取得して勉強して、

そんで行動に移す人に資産、カネというのが集中するように

出来てると思います。

さて、それで前号でもちょっと書いたのが

「アセットアロケーション」のことなんだけど

まあ資産をちゃんと適切に分配して行ってリスクコントロールしましょう

ってことなんですけど・・・

世の中の大多数が「儲ける事」に集中するわけなんですけど

実はローレンバフェットなんかはそうなんだけど

「負けないこと」がとても大事なわけですね。

それで実は世の中にはそれこそ FX とか仮想通貨の投機、

および投資として長期保有の不動産や株や金、天然ガスなどのコモディティ

と沢山あるんだけど、

それらの資産を組み合わせて

総資産を増幅させていくという思想があるわけです。

それで多くの人が思うのは

「そんなこといったって、どういう基本思想で

組み合わせればいいのか分からない」っていうところなんだけど

実はこの基本思想は「負けから考える」です。

これが分かると10年20年の長期で

資産増えないのはおかしい、レベルになるかと。

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

人生を「唯一」変える3つの方法とは??

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jinseikaeru3tu.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

金持ちと貧乏な人の「考え方、思考方法の大きな違いとは?」

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kanemochishikou.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

「時間を買う人」がお金持ちになるという音声です。

この「時間を買う」という概念を理解すれば

収入は一気に跳ね上がるものなのでよければ学んでみてくださいね～

「時間を買う」という音声

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jikanwokau1.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

価値がお金に換わる、という資本主義市場の法則について

【価値がお金に換わる】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kachihaokane.mp3>

(これを理解していれば、株なんかではそういう「価値」を作ってる企業が売り上げをあげるの株価あがりやすいよね、という話にもなってくる。上の価値を分析する、ってことができるようになると旅行しても消費しながら良い銘柄が見つかります。)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうプレゼント音声】

投資やビジネスで結果出すための考え方です。
教材や塾で結果を出す人と出さない人に分かれるんですけどそれは個人の資質というよりは以下で語られているような取り組み方の違いですので、知っておいてください。

「判断を繰り返す」

⇒ <http://fxgod.net/onsei/fx/hatten/handankurikaeshi.mp3>

(30分くらいです♪HIPHOP系の音楽付きです)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう音声】

マレーシアからの音声です。

マレーシアでの生活をしてきた感じだとか、

マレーシアの驚くべき物価とか、住み心地、さらには最近の世界の動き

そういうのをツラツラと話しています。

(ゆう音声)【マレーシアで生活してみて色々わかったこと】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/malaysialife.mp3>

(スマートフォンでも再生できます♪音楽付きです)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

「恐ろしきバルサラの破産確率」

⇒ <http://fxgod.net/pdf/fx/balsara1.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

【学校では教えてくれない「日本には所有権がない」という
驚愕の事実について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_shoyuken.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

「海外移住する日本人が過去最多を
どんどん更新することについて考える！」

⇒ <http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/kaigaijuukakosaikou.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【さらに学校で教えてくれない資本主義を理解しよう！】

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

【インターネットの登場が「人類に初めての資本主義」をもたらす】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_perfect_information1.pdf

(資本主義に重要な「完全情報とITの関連性」についての私の
レポートです)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

【資本主義の「市場」には法則がある、と言う話】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_market_rule2.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====編集後記=====

さて前号で

【大投資家のバフェットに投資してもらい、
という視点について考える！】

という号を流しました。

かなり価値のある考え方を書いていると思うので

良かったら前号見てくださいね～

それで今号は前号の続きというか補足なんで

今号だけ見ても分かると思いますが前号見たらより分かるので

前号見てない人は見てほしいんですけど

前号で書いたのが「アセットアロケーション」とかその辺ですよ。

ちなみにこの「アセットアロケーション」ってのは私が
神レベルトレーダーの根崎さんに数年前に教わったことで
そこから数年間重視していることでもあるのだけど

やはり重要な、考え方なんです。

それでアセットアロケーション組んでいて
いつもあるのが

例えば暴落で保有株の含み益がまあ減ってしまう
という場面、そういう場面でもしっかり例えば金価格が上昇してくれて
その含み益が減った分を帳消しにしてくれる、っていうことが
起こるわけです。

んでこれトータルではプラマイゼロになるわけではなくて
長期的にはそれぞれの金融商品が右肩上がりのプラスになっていくから
これトータルでも長期的にプラスになっていくんです。

この辺を今日は詳しく書きたいな~と思います。

ちなみにこの辺の考え方はFXのEAを複数でまわしたり

あとは海外在住の人は使える MQL5 ですね

優れたトレーダーに月額5000円とか払ってトレードしてもらえる

サービスも世界では流行してるけど

それらのトレーダーを複数人組み合わせる資産運用をさせる

最近世界で流行する擬似ファンド運用

ということでも応用できる考え方です。

それでよく「ポートフォリオ」と言いますが

実は私たち日本人が教育、義務教育でまったく教わっていないのが

「アセットアロケーション配分やポートフォリオの組み方」だったりするんです。

だからまあ貧困問題というのが現在の日本のように

深刻になってしま

ということでもあります。

今号で書くような知識ってのは私が色々な塾とかで

習った考え方でもあるのだけど

一般の人はそれを知らないからこう資産を増やすといっても

「それまでの道」が見えない状態なわけです。

んでとりあえず「稼ぎたい」となるわけで

「大もうけしたるで～～うっへっへ」

という心理状態になりますから

ここで スパーン！と相場に刈られてより貧乏になったり

するわけです。

儲けたいという欲望の心理というのを市場は

利用して、それで刈り取るということをするわけです。

それでワーレンバフェットの話が今号でも重要なんだけど

世界一の投資家といわれるワーレンバフェットが言ってることで

もっとも重要な言葉があつて

それが

=====

投資で成功するには、

【第1の原則】絶対に損をするな。

【第2の原則】第1の原則を忘れるな。

ウォーレン・バフェット

=====

と言う言葉ですよ？？

これが実はあらゆる投資の、基本思想になるわけですよ。

だからウォーレンバフェットは「10兆円稼ぎましょう！」とかは
言わないわけですね。

それよりも「負けないことを徹底せよ！！」とよく言うわけでした

バークシャーハサウェイの株価なんかは昨日書いたように

この数十年で2万倍くらいになってるわけでした

S&P 500のパフォーマンスを大幅に上回ってるわけです。

だから、この

【第1の原則】絶対に損をするな。

【第2の原則】第1の原則を忘れるな。

に本質があるってことですね！！！！

さて、それで「ポートフォリオを組む」ということを

私たちはやるわけです。

例えばアセットアロケーションなんかでも

色々な金融商品をあわせて「リスクをコントロールして

トータル利益総額を増やしていく」

という思想を投資家たちは取って行く訳ですね。

ここで重要なのが上の「負けない原則」になるんです！

それで今までっていうのはネットで

「FX だけ」とか「株だけ」とか「ネットビジネスだけ」とか

「仮想通貨だけ」とか「ICO だけ」とか、「オプションだけ」とか

「海外株だけ」とか「金だけ」とか「不動産だけ」とか、

みたいなそういうどれか1つの

投資方法がメインだったと思うんだけど

おそらく今後10年で日本人の個人投資家もこの

「アセットアロケーション」

という考え方をもって複数の金融商品を組み合わせて

そこで総額利益を「必然的に」伸ばしていくという

本来の投資のあり方

米国なんかの利益出してるファンドたちがやるようなそういう

投資戦略が普通になってくだろうと、私は思ってるわけです。

これは証券会社なんかも最近日本でレベルアップしてきていて
FXだけの証券会社とかではなくて

そこで様々なコモディティ扱えるし、株も扱えるし
オプションもできる、金銀プラチナも扱える、
天然ガスも取引できる、

もうそんな証券会社が増えてるわけでした
となるとこれから投資家たちは「アセットアロケーション戦略」
というのが普通になってくるだろうなって思うんですね。

なぜかと言うと単一の金融商品だけよりも
複数の金融商品を組み合わせたほうがやはりトータル
パフォーマンスは「戦略があれば」安定するからですよ。

それで、これらを教えてる塾とか教材って実はほとんどないのが
現状で私なんかは情報教材1000万円以上見てきてるけど
やはりあまり今号で書いているような内容は掘り下げられていない
という現状もあるわけです。

それはたぶん説明が難しいからでして
そこについてこれる人が少ない＝日本人の知性が

高度経済成長期のように学問を重視するという傾向から離れている、

日本語の長文読解力が低くなってきている

本を読まなくなった、、

というのも影響してる。

だからメルマガで書いているわけなんですけども。

んで、「どうやってそれらの金融商品とかポートフォリオ組むの??」

と私たちはその方法を義務教育で教えられていないわけだけど

これを学ぶのが大事なんです。

それでアセットアロケーションの一般的な考え方としては

上に書いたような投資に使える資金を

現金、国内株式、国内債券、海外株式、海外債券、

コモディティとか不動産とかに振り分け、

投資効率を上げていくことなんだけど

そこで私たち個人投資家は「自分の資金をどういう配分で

割り当てていくか??ポートフォリオはどう組もう??」

っていうことを考えていかないといけないわけです。

全体の投資資金のアセットアロケーションの中で
それぞれの金融商品の割合を決めた後、
具体的にどの銘柄とかを購入するか決定することがポートフォリオ
ですよね。

ちょっと難しいかもしれないけど要するに
「どうやって分散して投資効率をあげていくか？」
を私たちは考える必要があるわけです。

それで上に書いたようにその「基本思想」があって
それがバフェットのいう、

- 【第1の原則】絶対に損をするな。
- 【第2の原則】第1の原則を忘れるな。

と、なります。

それで実は巷の多くの人がポートフォリオを組む思想として
「無意識に採用してしまう」のが

「沢山儲けて～よ～～」

っていう思想なんです。

欲望の思想、ですね。

「早く儲けて億万長者になってキャバのサナちゃんと
海外旅行にいきてーよーそこで海の前のビラでパコリてーよー」

みたいなそういう欲望の思想です。分かりやすい例でいうと。

それで実は重要なことなんだけどこの時点で

「その人負け確定」してるんですね。

ようするに これから資産を長期で減らすのがもう思想時点で
確定するってこと。

というのはバフェットののような優れた思想を理解してる

投資家たちはみな

「負けないこと」を基準にポートフォリオを組むわけです。

儲ける事よりも負けないことを重視する。

んでこれはポートフォリオ組み、もしくは

大きなアセットアロケーション組み

で具体的にどうなるか？

というと「儲けたいよ〜」っていう欲望思想に支配されてると

「今これが儲かってるからこの儲かってるAとBとCに投資！！」

っていうやり方をしてしまうんです。

一応これも配分してるのだからアセットアロケーションとポートフォリオを組んでるようだけど・・・

このようなやり方は長期的には大体「悲しい結果」に終わるわけですね。

なんかの暴落があつて、そこでAとBとCも全部マイナス

結局総資産が大減少・・・ということになってしまうわけです。

実はこれはリーマンショックのときの個人投資家の多くの投資行動が

そういう行動でして、ここで資産を失った個人も法人も多かったわけです。

大企業でさえ、この思想を無意識に取り入れて大損してるわけで

日本の大企業の経営者もこれまた

金融知識が他のアジア国の経営者に比べて劣っていたということ。

ただそんな暴落相場でもしっかりと利益を着実に増やしていた人たち

ってのがいて、

それが

【第1の原則】絶対に損をするな。

【第2の原則】第1の原則を忘れるな。

の原則でポートフォリオを組んでいた、アセットアロケーション配分を決めていた人たちなんですよ。

これはじゃあ具体的にどうやっているのか？というところ

まず「儲け」にフォーカスしないんです。

それよりは「負け」にフォーカスするわけです。

例えば昨日書きましたけど分かりやすいのがNYダウと金ゴールドを組み合わせているという考え方があるわけですけど

例えばアメリカの株を買いますよね。

ただこのアメリカの株ってNYダウがめっちゃ下がったら

大体の株も影響を受けて下がるわけです。

これは株の検証していると分かることですね。

だから例えばアメリカの株A、B、Cと組み合わせたとしたら

これ組み合わせて一見リスクヘッジしてるように見えるけど

NYダウそのものが大下落したらやはりAとBとCで含み益出ている

含み益が全部減ってしまったり、

もしくはマイナスになってしまうかもしれないわけです。

だから全然ヘッジできていないわけですね。

これはリーマンショックのときとかの下落を見れば分かるけど

NYダウが下がって、同じくアメリカの株のほとんどがこれ

大きな影響、株価下落が50%60%を超えるような下落をしてたり

するわけです。

だから最初に考えることは「暴落したとしたら大丈夫か？」

ということを考えるわけですね。

だから一番最悪な組み合わせがそうですね、

不動産と日本株とアメリカ株と米国債を組み合わせるみたいな

やり方で

これを「分散投資やってるよ～」なんて思ってる人は多いのだけど、

実の話、まったく分散になっていないわけです。

だって、次にまたアメリカの債券市場なりが崩れたら

ここで全投資部門がマイナスになっちゃうわけだから。

ちなみに、このポートフォリオの組み方は今の日本政府が
まさに投資銀行とかかましてやってる方法ですね。

だからこれは確率的に適切な負けないポートフォリオが組めていないので
いずれ破綻します。

が、中国なんかはこれ金融商品の組み合わせ方を政府単位で見ると
うまくやっていますから、またドイツなんかもこれ生き残るでしょう。

ポートフォリオとかアセットアロケーションの組み方が分かっていると
この辺の未来シナリオもかなり正確にわかってくるのであります。

それで重要なのがそれぞれの金融商品って「長期では右肩上がり」
な場合が多いわけですし、それに私たちは金額を割り振って
投資するわけです。

ただ問題が、「リーマンショック」とかそういうものが
結構定期的に襲い掛かるわけですね。

震災もあるし、最近では北朝鮮のミサイルってのもあったし
テロもあるし。

ここで一時的に金融商品全体が影響を受けて

含み益が大きく減ったり、もしくはマイナスになったりして

しかもそれが分散した投資商品全部で起こる可能性はあるわけです。

「これをどうしようかな？」と「考える」のが

アセットアロケーションとかポートフォリオ組みでもっとも重要な

思想なわけであります。

んでリーマンショックというのがあったけど

そこで実は儲かった人たちがいますよね？

そう、これは金地金をホールドしていた人たちだったり

あとはオプションでプットオプション買いを持っていた人たちですね。

あとはポンド円とかでショートで売った人たちとかです。

この人たちってのは実は資産増やしてるわけです。

だからポートフォリオ組むときにとても重要なのが

「逆相関」っていうんだけど

これを利用するのが超重要かなって思います。

これはチャートを思い浮かべてほしいんだけど

サブプライムとかリーマンショックで例えばNYダウは

右肩あがりだったけど暴落してるわけです。

2007年～2008年あたりに。

ただ長期で見ればその後も右肩上がりです。

ただこの暴落時期が「きつい」わけです。

ただですよ、また別の金融商品、例えば金ドルなんかは
分かりやすいけど

これは例えばNYダウと比較的連動してきている

バフェットのバークシャーハサウェイですが

これはリーマンショック時に、2007年の12月に高値の
15万ドル近くをつけて、それで一気に半年で半額まで
暴落しているわけです。

それでその暴落を取り戻すために5年～6年かかっているわけです。

ただ同じくこの5年～6年の間に金ドルに関しては

750ドルから1500ドルくらいになってるんです。

だから例えばNYダウに連動する銘柄を持ってる人で

例えばバークシャーハサウェイ「だけ」持っていた人ってのは

この暴落して価格が戻らなかった6年近く結構

きつかったわけですけど

ここで同時に金を多めに持っていた人たちってのは

これ金価格自体が2倍になってますから

バークシャーハサウェイの株価は購入時の50%~70%と

数年うろうろしていたんだけど、

そこで金は結構上がってるから、

金に比重を置いてる投資家たちは

トータルはプラスだったんですね。

バークシャーの株価がリーマンショック前に戻るのが

2013年なんだけど

その時点では金は従来の2倍の価格をつけて

バークシャーの株は元に戻してリーマンショック前とイーブン。

だから実は金の2倍分の価格が上乘せされて

トータルの資産は

「リーマンショックをはさんだとしても」

この人たちは安定的に右肩あがりで、増えてるんです。

しかも暴落を2008年あたりにはさんでも

あまりトータル収益が減って大変だ、みたいな苦労はしていない。

これがアセットアロケーションのすごさなんですけど

分かっていたいただけますかね。

だから多くの投資家が「暴落」を怖がるけど

アセットアロケーション組んでる人たちってのはこれ

逆に資産を増やしてたり微損で済んでるわけですし、

もうそこで差が長期的に、出るわけです。

それで重要なのは「負け時期にフォーカスする」

ってことでした

世の中にはいっぱい金融商品があるんだけど

この「逆相関」のアセットを組み合わせていくってのは

結構重要な方法だと思います。

要するにどれか1つの金融商品が爆下げしたとき

そのときにまた逆相関の関係を持つ金融商品を同時保有していたとしたら

これが「損失を補填してくれる」わけです。

それで・・・上の例見ていただきまして分かると思うんですけど

あくまでも「負け」から考えてるというのが分かると思うんですけど

「負けないこと」を重視してるってのが分かると思うんですけど

ここで初心者の方が疑問なのが

「けど A でマイナスで B でプラスなら、

結局プラスマイナスゼロじゃん！」

って思うわけです。

これは「点」で見るからそうなんです。

ただ上のバークシャーと金地金の組み合わせの場合

「なぜか」2013年時点ではプラスになってますよね??

なぜだろう?

と言いますとこれはチャートを見れば分かるんだけど

あくまでも NY ダウ (バークシャーハサウェイ)も

金地金も「長期ではプラスになっている」=長期では右肩あがり

なのです。

要するに、これらの「暴落する時期」ってのが違うんです。

そう、だから重要なのは「暴落する時期をそれぞれの金融商品で

把握して、その時期を「ずらす」ってのが大事なんですよ。

これはポートフォリオの組み方としてとても大事な考え方でして

「負けから見る」わけです。

さらに具体的に言うと「負けの時期」から見るわけです。

金地金なんかも2011年から2013年までは結構下がってるんですよ。

ただそんな中、NYダウはその間結構 価格を取り戻してきてるんです。

そう、こうやって

「暴落時期=負ける時期」を

それぞれの右肩あがりの金融商品で把握して

そして負ける時期を「ずらす」

この思想がとっても大事なんです。

要するにアセットアロケーション組んでいて最悪なのが
「第2のリーマンショック」ってのがいずれあったとして

ここで全ての金融商品がマイナスになるってことですよね。

これはなかなかきついですよ。

全部マイナスなんだから。

ただいずれ起こります。

ただここで

Aの金融商品はマイナスだけど

Bの金融商品がそこではプラス

となればそこではあまり負けが進まないわけで

「トータルとしてはプラス」「もしくはトータルとして少ない損」

になるんです。

それでそれぞれの金融商品はあくまで長期で右肩あがりのものを

選択しますから、

これはダウ理論が崩れない限りは、またドルと金の逆相関の
「ドルと金は戦う存在」というこの長い長い歴史の政治的関係性が
崩れない限りは、

それぞれの右肩あがりの金融商品は
暴落をはさみつつも力強くあがっていく期待値が高いわけです。

ただ問題が
「仮にそれが右肩あがりであってもどの金融商品も暴落をはさむ」
ということです。

だからアセットの組み方として、
「暴落時期をずらすように組む」ということをするんですね。

これをやると、例えばNYダウ暴落のときに金が上がりますという感じで
両方の金融商品はそれぞれ右肩あがりなんだけど
どっちが暴落したときにどっちが補ってくれるわけでした
ここであまりトータル損益は「波」が出なくなるんです。

んで両方とも長期では右肩上がりですからね、
長期ではトータルとしてプラスに推移していく可能性が

非常に高いということです。

「トータルでは」ですね。

だから例えばNYダウと金ドルのチャートってのをこれを

合成していくと、
(使わなくてもいいけどそういうソフトが実は世の中にはあります。)

右肩あがり、のチャートも「緩やかな右肩あがり」

に収束されていくわけです。

これ文章だと説明が難しいんだけど

それこそ「右肩あがり」ってのもですね、

「いびつな右肩あがり」ってのがあって

暴騰してその後暴落して、また暴騰してを繰り返して

右肩あがりをするものもあれば(いびつな右肩あがり。)

結構「きれいに右肩あがり」になるチャートもあるんです。

んでこれら2つの金融商品を「合成」すると

「右肩あがりのいびつさを取り除ける」んですよ。

「いびつ」ってのはNYダウがリーマンショックで暴落してるけど

ただそれでも2017年までは上がってると。

ただチャート上ではリーマンショックのときはまあ
すごい暴落してるわけでした。

これは右肩あがりとしても「いびつ」じゃないですか。
きれいな右肩あがりではない。

その「右肩あがりのいびつさ」を修正するために
アセットアロケーションで金地金なりを組み合わせると
合成すると、

「トータル損益としてのグラフはきれいな右肩あがりに
しやすい」

ということなんです。

これは様々な金融商品でアセットアロケーションを作るときに
だから「暴落時期をずらす」という考え方をするのだけど

だから暴落してる時間のリスクを殺す、
という思想なんだけど

そうすると

「総資産は右肩上がりで非常に高い確率で増えやすい」

ってことなんです。

ちょっと難しいかもしれないけどこの思想で

それぞれの金融商品を組み合わせると「安定して右肩上がりになるよね」

っていう考え方です。

これは・・・実はFXの自動売買でも重要で

FXの自動売買とかあとはMQL5とかでも

「トレーダーやEAを組み合わせる」ということをします。

ここでも「負ける人は儲かっているEAやトレーダーを組み合わせる」

のだけどやっぱり最終的には破産するんです。

それよりは生き残っている人たちってのは

「このAトレーダーは2011年から最大ドローを出しているけど

右肩あがり。

このBトレーダーは2008年に最大ドローを出しているけど

右肩あがり。

このCトレーダーはショートがうまくて2008年に

爆益。けど2014年～2015年に最大ドローだ。

けど長期では右肩上がり。」

こういう人たちを組み合わせるわけですよ。

うまく実はそれぞれのトレーダーとか EA の暴落時期を
ずらして「補填」するような複数 EA 構築の戦略を立てるわけです。

そうするとこれらのトレーダーの損益グラフ見ると
それぞれは「いびつな右肩上がり」だけでも

その右肩あがり「平均化」することができまして
どれかの EA やトレーダーが最大ドロー更新していても

他のトレーダーや EA はこれ利益をあげてたりするので

その時点では、同時期に負けるわけじゃないから
あまり負けが進まないわけです。

それでチャート自体は右肩あがり「平均化」するので
総資産額チャートを作れば

「いびつな右肩上がり⇒滑らかな右肩上がり」

になっていくということなんです。

こうやって「負けから」考えていくと

トータル資産曲線のグラフってのを、

右肩あがりで平準化とか言いますがそれが出来まして

だから資産は必然的に、高い確率を持って

右肩あがりで安定性を持って

ずーっと増やせるってことなんです。

ただ増やすのを最初の目的としていなくて

「負けから考える。同時に負けがこまないように

アセット分散を考える」

っていうことです。

分かりやすい事例が上に書いたNYダウに連動する

株と金地金を合わせるっていうやり方ですね。

んでこれをさらに進めるとオプションのプット買いとか

ポンド円売り戦略とかも組み合わせて

強いアセットアロケーション、ポートフォリオを構築できる

ってことです。

これ、一度読んだだけで分からない人は何度か

読み返して理解してほしいんだけど、

私ゆうが結構のんびりマレーシアとか韓国で暮らせてるのは

こういうことやってるからなんですけど

是非参考にしてほしいな、って思います。

んで仮想通貨とか ICO とかってのはあくまで投機として

このアセットアロケーションに組み込むって考え方で

私なんかは考えていまして

そうやって[[name1]]さんなりのポートフォリオ、

およびアセットアロケーションの資産配分を作り上げるのが

大事だよ～～

ってことでもあります。

基本思想は「負けから考えて

同時に全ての商品が負けないように

アセットのバランスを組む」

ということですよ。

例えば NY ダウは2007年10月は14000ドルですよ。

んで2009年の3月には6000ドル台です。

1年半で半額以下になっちゃってる。

ただその間金はリーマン前の

1. 3~1. 5倍前後をうろちょろしてるんだけど

となると配分として NY ダウに連動するアメリカ株を1持って

金地金を2持つ

という配分だと比較的右肩あがり「きれい」になるわけです。

暴落時期であっても。

こういう配分を考えるというのがこれからの時代とても

大事だろうと思いますよ。

必ず暴落というのは数年に1回は来ますから

そのときにでも力強くトータルの収益がプラスになるように

「運命や確率をコントロールする」

という考え方になります。

んでその

「運命や確率をコントロールする」

ために取る思想は「儲けて一よ、ぐっへっへ」

じゃなくて、

「負けないために負け時期をどうそれぞれの右肩あがりの

金融商品で「ずらす」ことができるだろう」

という「負けから考える」という思想になります。

だからポートフォリオ、アセットアロケーションでも

【第1の原則】絶対に損をするな。

【第2の原則】第1の原則を忘れるな。

この考え方から思想はスタートするって事です。

それで上のようなアセットアロケーションとか

分散投資ポートフォリオをやっていくと

資産が右肩あがりってのがこれグラフにすると

「右肩上がりが平準化」していくんですね。

今まで総資産が「いびつな右肩あがり」だったのが
「きれいな右肩あがり」に変わっていきます。

唯一あるのは税金で一気に「バコーン」と暴落レベルに
持ってかれるってのはあるでしょうけど

ただそれでも資産は右肩上がりで増やせるわけです。

この辺を「考える」ってのがだからすごい重要なんですね。

ちなみにEAの運用とかでも複数EAで利益を上げてる人たちってのは
上のような考え方をしてポートフォリオを組んでまして

そんで「負ける時期をずらす」とかそういうことをやって
それでそれぞれのポートフォリオにいれてるEAは一応
右肩あがり期待できるものだから

それで収益性の右肩あがりのグラフを「平準化」するってことを
やってそんで利益出しているってことなんです。

だから以前書いたけど「EA=自動売買で大もうけ！うっへっへ」みたいな
人たちとはそもそも思想が違うし、

彼らは儲けしか見ていないけど

金持ちたちってのは上記のように負けから考えて

そして右肩あがりやを平準化するってことを考えるわけでした

結局10年20年経過すると、暴落を必ずはさみますから

生き残って資産を莫大に増やしているのは

後者の金持ちたちの謙虚な思想であるってことにもなるんです。

上記のような考え方が世の中には存在しております

その考え方を「知ってて実行する人」ってのが

資産をこんな時代でも長期的に右肩あがりやに増やしていく

ってことです。

そしてそれは偶然じゃなくて、

長い長期チャート見ながら暴落時期をずらしたりヘッジしてますから

まさにリスクコントロールをしていますから

だからその彼らが金持ちになるのは偶然や運じゃないってことですね。

よく「あいつは運がいいから金持ちになれた」という言葉を

日本語圏で見るとだけ・・・

そうじゃなくて金持ちたちってのは「運をコントロールする」

という視点を持ってるわけです。

「暴落が来た、運悪かったんじゃない」

「暴落をあらかじめ想定して、その上で暴落時にも

総資産があまり減らない、もしくは増えるような

アセットアロケーション、分散投資をあらかじめ準備してる」

ってことです。

ここで総資産の右肩あがりを実準化して、それで運をコントロールする

わけです。

だから世の中はそういうことをしてる人が少数なんで

少数が金持ちになって

それを知らない人、運に依存する人がこれ、

貧乏になっちゃう、っていう構図なんですよ。

だから究極的に言えば「運をコントロールするために

アセットアロケーションや分散投資ポートフォリオが有効」

ってことでして、

その具体的な組み方、思想は上に書いたようなことなんです。

これを私は20代前半のころ知りたかったな〜とっていて
それを知ったのが20代後半でしたけど

こういう思想をなるべく早い時期に知ってのは
大事だろうなと思ひまして今号で掘り下げて書きました！

世の中の多くの方は
「FX だけ」「株だけ」「アフィリエイトだけ」
「ブックメーカーだけ」「オプションだけ」
「不動産だけ」「仮想通貨だけ」「ICO だけ」
「金だけ」

となる傾向があるのだけど

それぞれ「だけ」にしてしまうと

うまくいったとしても

いびつな右肩あがりの総資産曲線になってしまうけど、

ここでアセットアロケーションの考え方を適用していきますと

資産の右肩あがりの曲線を長期で「平準化」できますので

まさに右肩上がりの「直線」に近づけることができますので

そうするとやはり資産は必然的に増えていくってことですよね。

これは私なんかは優れた投資家たちの思想や

脳内構造を研究して

分かったことなんだけど

まあすごい強力な思想だから、

資産増やすために鉄板なんで研究するといっています。

世の中、知ってる人、そしてそれを実行に移していく人が

満足な人生歩めるようにできてるってことです。

それでは！

ゆう